

海外安全対策情報（2015年1月～3月分）

在サンクトペテルブルク日本国総領事館

1 社会・治安情勢

当地では社会・治安情勢は比較的安定しているものの、ウクライナ問題を起因とした抗議活動や民族主義団体等による集会・デモが行われ、治安当局による集会・デモ参加者への拘束事案も少なからず発生しており注意を要する。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 国家統計庁が発表した2015年1月から2月におけるサンクトペテルブルク市及びレニングラード州の犯罪発生件数は8,059件、前年同期比89.6%となっている。

犯罪種別の内訳は以下のとおり。

殺人（未遂を含む）	31件（前年同期比 60.8%）
重傷傷害	95件（111.8%）
強姦	5件（38.5%）
強盗	103件（99.0%）
略奪	346件（70.5%）
窃盗	2,895件（88.3%）
詐欺	358件（81.5%）
薬物不法取引	2,222件（97.8%）

当地における邦人窃盗被害の多くはスリであり、バスや地下鉄利用時や観光スポット周辺において狙われることが多いことから、公共交通機関の利用を避けたり、観光スポット周辺では身の回りに注意する等の防衛策が必要となる。

又、特異な事案として、単独の男性飲酒客を対象とした、ロシア人女性等による昏酔強盗容疑事件、及び窃盗（スリ）が一昨年からの複数件発生しており、見知らぬ者との飲酒は避けるとともに、現金やカードの携行は必要最低限とし、数カ所に分けて携帯するなどリスク分散に配慮する必要がある。

(2) 邦人被害事案

- ア 1月中旬, 在留邦人が, イサク聖堂付近のレストラン「ゴーゴリ」で友人と食事をした後, 向かいのカフェに入った。カフェに入るとロシア人男性が携帯電話で話しながら近づいてきて, 通路上でぶつかった。ぶつかった男性は謝るような素振りをして, トイレに入った後, すぐにカフェを出て行ったので, あまり気にせず席について上着ポケットに入れていたスマートフォン(ソニー製エクスペリア)を出そうとしたところ, 盗まれたことに気付いた。
- イ 1月中旬, 旅行者が, エルミタージュ美術館から徒歩でネフスキー大通り方面を歩き, 途中, カフェ(店名不詳)で昼食を摂った後, 店を出て路上を歩いたところ, 肩掛けのバッグから財布(現金5万円, 5万円相当のルーブル, クレジットカード4枚, 運転免許証, 健康保険証在中)がなくなっていた。
- ウ 1月中旬, 在留邦人が家族及び知人とともに帰宅し, 自宅アパートの共同玄関を開けようとしていたところ, 後方に中央アジア系男4人が立っているのに気づいた。男らは矢庭に被害者の肩掛けポーチのヒモを刃物で切断し, 同ポーチ(財布(現金2000ルーブル, クレジットカード1枚), 自宅の鍵在中)をひたたくって逃走した。被害者はしばらくの間犯人を追跡したものの, 深追いすることによって被害が拡大する可能性を考慮し, 追跡を断念した。なお, 被害者の家族は, 4人組の他にも男3人位がアパートの中庭で待機していたのを目撃している。
- エ 2月上旬, 在留邦人が, ゴスチーニー・ドボールのサドバヤ通り側出入口から外に出ようとしたところ, 前後をロシア人に挟まれ, 気がついたら財布(現金7000ルーブル, 1万円, クレジットカード1枚在中)が無くなっていた。

(3) 邦人以外の被害事案

ア 殺人・殺人未遂

- (ア) 1月中旬, 市内アドミラルチェイスキー区の民家にて, 19歳の少年と17歳の少年が口論となり, 17歳の少年が相手を刃物で刺した。被害者は病院に搬送されたが, 重体である。

- (イ) 3月中旬, 市内中央区のデパート「ガレリア」付近において, 地元住民とダゲスタン共和国出身者等の間で大規模なけんかが発生し, 地元住民がダゲスタン人の男性2名を刃物で刺し, 1名が死亡し, 1名は病院に搬送された。
- (ウ) 3月中旬, 市内ネフスキー区のアパート内で, 25歳の男が29歳の兄, 及び7歳の甥を刃物で襲い, 7歳の甥が死亡し, 29歳の兄は重体である。犯人は現行犯逮捕された。

イ 強盗

- (ア) 1月初旬, 市内クラスノグヴァールジェイスキー区ハッサンスカヤ通りにあるスーパー「レンタ」前において, 4人組の強盗が, 歩行中の男性をけん銃様の物や刃物で脅し, 携帯電話等を奪って逃走した。被疑者として中央アジア系の28歳男が逮捕された。
- (イ) 1月中旬, レニングラード州プーシュキンスキー区の路上にて, 3人組の強盗が通行人である夫妻をけん銃及び刃物で脅し, 650万ルーブルが入ったカバンを奪って逃走した。
- (ウ) 1月中旬, 市内フルンゼンスキー区にある携帯電話ショップに覆面をした強盗が押し入り, 女性店員をけん銃で脅した上, 暴行を加え, 売上金30万ルーブル, 及び商品の携帯電話数台を奪い逃走した。
- (エ) 1月下旬, 市内モスコフスキー区の携帯電話ショップに覆面をした2人組の強盗が押し入り, けん銃で店員を脅し, 売上金37万2千ルーブルを奪い逃走した。
- (オ) 1月下旬, 市内沿海区の携帯電話ショップに強盗が押し入り, けん銃様の物で店員を脅し, レジ及び金庫から売上金20万9千ルーブルを奪い逃走した。
- (カ) 2月下旬, 市内中央区の路上にて, 2人組の強盗が通行人を刃物で脅し, 現金10万6千ルーブルの入ったリュックサックを奪い逃走した。
- (キ) 2月下旬, 市内ネフスキー区にある自動車販売店の駐車場にて, 2人組の強盗が来客に暴行を加え, 現金, 及び携帯電話を奪い逃走した。翌日, 被疑者として24歳と21歳の男が逮捕された。
- (ク) 3月下旬, 市内モスコフスキー区の路上にて, 中央アジア系の5人組の強盗が

男性に対し、けん銃を数回発砲し、85万ルーブルの入ったカバンを奪い逃走した。被疑者は脚と腕に重傷を負った。

- (ケ) 3月下旬、市内カリーニンスキー区の宝石店にサングラスをかけた2人組の強盗が押し入り、けん銃様の物で店員を脅し、店内から宝飾品を奪い逃走した。
- (コ) 3月下旬、市内キーロフスキー区の路上にて、強盗が刃物で通行人のタジキスタン国籍の男性2名を脅し、金品を奪おうとしたところ、被害者が抵抗したため刃物で刺した。被害者のうち1名は死亡し、1名は重体である。
- (サ) 3月下旬、市内フルンゼンスキー区の宝石店に黒いサングラスをかけた2人組の強盗が押し入り、店内から時価合計200万ルーブル以上の宝飾品を奪い、自転車に乗って逃走した。

ウ 強姦

- (ア) 1月上旬、市内クラスノグヴァールジェイスキー区の路上にて、28歳の女性が、地下鉄「ノヴォチェルカースカヤ」駅から自宅に向かって歩行中、強姦された。後日、被疑者として44歳の男が逮捕された。
- (イ) 1月中旬、市内中央区において、12歳の少女が何者かに強姦され、裸のまま外に放置された。後日、被疑者としてタジキスタン国籍の男が逮捕された。
- (ウ) 1月下旬、2人組の男が20歳の女性を脅し、市内クラスノグヴァールジェイスキー区のアパートに連れ込み強姦した。後日、犯人は逮捕された。
- (エ) 3月上旬、市内クラスノグヴァールジェイスキー区の路上に停められた車両内で、14歳の少女が強姦された。後日、被疑者として39歳の中央アジア人の男が逮捕された。

3 テロ・爆発事件発生状況

- (1) 1月中旬、モスクワ駅に爆弾を仕掛けた旨の電話があった。警察は乗客等約600人を避難させ駅構内を検索するも不審物の発見には至らなかった。
- (2) 3月中旬、市内カリーニンスキー区にある大型ショッピングセンターに爆弾を仕掛けた旨の電話があり、警察は来客を避難させ店内を検索するも不審物の発見には至ら

なかった。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

特になし。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

特になし。